

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第41期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社ケーユーホールディングス |
| 【英訳名】 | KU HOLDINGS CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 井上 恵博 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都町田市鶴間1670番地 |
| 【電話番号】 | (042)796-5381（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 大橋 康寛 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都町田市鶴間1670番地 |
| 【電話番号】 | (042)796-5381（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 経理部長 大橋 康寛 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第40期 第2四半期連結 累計期間 | 第41期 第2四半期連結 累計期間 | 第40期 |
|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日 | 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日 |
| 売上高(百万円) | 23,641 | 25,159 | 49,459 |
| 経常利益(百万円) | 1,451 | 1,467 | 3,014 |
| 四半期(当期)純利益(百万円) | 909 | 901 | 2,150 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 918 | 885 | 2,180 |
| 純資産額(百万円) | 25,260 | 26,950 | 26,219 |
| 総資産額(百万円) | 30,775 | 32,345 | 32,094 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 57.54 | 58.52 | 136.26 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | 56.73 | 57.40 | 133.93 |
| 自己資本比率(%) | 81.8 | 82.9 | 81.4 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 1,169 | 928 | 3,176 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 321 | 2,683 | 534 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(百万円) | 110 | 179 | 404 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円) | 4,150 | 3,716 | 5,651 |

| 回次 | 第40期 第2四半期連結 会計期間 | 第41期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年7月1日 至平成23年9月30日 | 自平成24年7月1日 至平成24年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 30.55 | 36.10 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ、緩やかながら回復基調となりましたが、円高の長期化や欧州債務危機による世界景気の減速により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

自動車販売業界におきましては、東日本大震災で冷え込んだ昨年の販売の反動増に加え、エコカー補助金の効果もあり、国産新車販売は大幅な増加となりました。また、中古車販売台数は7年ぶりに前年同期を上回りました。当第2四半期連結累計期間の新車の総販売台数（登録車と軽自動車の販売台数合計）は、2,590千台（前年同期比33.5%増加）となりました。一方、中古車登録台数は3,276千台と前年同期比で7.6%の増加となりました。また、外国メーカー車の新車販売台数は、115千台（前年同期比9.9%増加）となりました。このような状況下、当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高は、前年同期に比べ1,517百万円増加の25,159百万円（前年同期比6.4%増加）となりました。利益につきましては、営業利益は前年同期に比べ9百万円増加の1,420百万円（同0.7%増加）、経常利益は前年同期に比べ16百万円増加の1,467百万円（同1.1%増加）となりました。四半期純利益は、前年同期に比べ7百万円減少の901百万円（同0.9%減少）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

国産車販売事業

売上高は、前年同期に比べ827百万円増加の11,576百万円（前年同期比7.7%増加）となりました。営業利益は、前年同期に比べ90百万円減少の560百万円（同13.9%減少）となりました。

輸入車ディーラー事業

売上高は、前年同期に比べ690百万円増加の13,583百万円（前年同期比5.4%増加）となりました。営業利益は、前年同期に比べ116百万円増加の646百万円（同21.9%増加）となりました。

（単位：百万円）

| | 国産車販売事業 | | 輸入車ディーラー事業 | |
|------------------|---------|--------|------------|--------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 当第2四半期 連結累計期間 | 11,576 | 560 | 13,583 | 646 |
| 前第2四半期 連結累計期間 | 10,749 | 650 | 12,892 | 530 |
| 増減率 | 7.7 % | 13.9 % | 5.4 % | 21.9 % |

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,934百万円減少の3,716百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、928百万円（前年同期比240百万円減少）となりました。

これは、主にたな卸資産の増加額266百万円、仕入債務の減少額268百万円などにより減少いたしましたが、売上債権の減少額176百万円、税金等調整前四半期純利益1,467百万円および減価償却費406百万円などの増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、2,683百万円（前年同期比2,361百万円増加）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出1,646百万円、定期預金の預入による支出1,600百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、179百万円（前年同期比68百万円増加）となりました。

これは、主に配当金の支払額176百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 80,000,000 |
| 計 | 80,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 23,063,012 | 23,063,012 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 23,063,012 | 23,063,012 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

当第2四半期会計期間において発行した新株予約権は、次のとおりであります。

| | |
|--|---|
| 決議年月日 | 平成24年6月27日 |
| 新株予約権の数(個) | 780 |
| 新株予約権のうち自己新株予約権の数(個) | - |
| 新株予約権の目的となる株式の種類 | 普通株式 |
| 新株予約権の目的となる株式の数(株) | 78,000 |
| 新株予約権の行使時の払込金額(円) | 1 |
| 新株予約権の行使期間 | 自 平成24年8月1日 至 平成54年7月31日 |
| 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の 発行価格及び資本組入額(円) | 発行価格 1 資本組入額 1 |
| 新株予約権の行使の条件 | <p>当社の取締役または執行役員の地位を喪失した日または当社子会社の取締役または執行役員の地位を喪失した日(子会社の取締役又は執行役員を兼務している場合は、そのいずれの地位も喪失した日。執行役員については、その地位を喪失した日または従業員退職のいずれか遅い日とする。)のそれぞれの翌日から原則として10日以内に一括して行使する方法によってのみ、新株予約権を行使できるものとする。</p> <p>新株予約権者が死亡により退任した場合は、その相続人は相続開始から3か月間に限り新株予約権を行使できるものとする。ただし、取締役会が相続人の行使可能期間を延長した場合、延長後の行使可能期間の満了するまで、当該相続人は新株予約権を行使できるものとする。</p> <p>その他の条件については、取締役会決議に基づき、別途当社と新株予約権者との間で締結する「新株予約権割当契約」に定めるところによる。</p> |
| 新株予約権の譲渡に関する事項 | 譲渡による新株予約権の取得については、当社取締役会の決議による承認を要するものとする。 |
| 代用払込みに関する事項 | - |
| 組織再編成行為に伴う新株予約権の交付に関する事項 | - |

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金 増減額 (百万円) | 資本準備金 残高 (百万円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 平成24年7月1日～ 平成24年9月30日 | - | 23,063,012 | - | 6,321 | - | 6,439 |

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|---------------|-----------------------|---------------|--------------------------------|
| (有)ヤマサン | 東京都町田市鶴間1201番地 | 5,942 | 25.77 |
| 東京海上日動火災保険(株) | 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 | 1,116 | 4.84 |
| (株)損害保険ジャパン | 東京都新宿区西新宿1丁目26番1号 | 994 | 4.31 |
| 井上 順子 | 東京都町田市 | 642 | 2.79 |
| 日本興亜損害保険(株) | 東京都千代田区霞ヶ関3丁目7番3号 | 572 | 2.48 |
| ケーユー従業員持株会 | 東京都町田市鶴間1670番地 | 298 | 1.30 |
| 三井住友海上火災保険(株) | 東京都中央区新川2丁目27番2号 | 254 | 1.10 |
| 井上 恵博 | 東京都町田市 | 231 | 1.01 |
| (株)ジャックス | 北海道函館市若松町2番5号 | 200 | 0.87 |
| (株)セディナ | 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目23番20号 | 200 | 0.87 |
| 計 | - | 10,453 | 45.32 |

(注) 当社は自己株式7,655千株(所有割合33.19%)を保有しておりますが、上記大株主の状況には含めておりません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 7,655,500 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 15,399,800 | 153,998 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 7,712 | - | - |
| 発行済株式総数 | 23,063,012 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 153,998 | - |

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,300株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数13個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%) |
|-----------------|--------------------|-------------------|-------------------|-----------------|------------------------------------|
| (株)ケーユーホールディングス | 東京都町田市 鶴間1670番地 | 7,655,500 | - | 7,655,500 | 33.19 |
| 計 | - | 7,655,500 | - | 7,655,500 | 33.19 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,101 | 5,216 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,209 | 1,032 |
| 有価証券 | 161 | 157 |
| 商品及び製品 | 4,948 | 5,172 |
| 仕掛品 | 36 | 50 |
| 原材料及び貯蔵品 | 145 | 141 |
| 前払費用 | 119 | 180 |
| 繰延税金資産 | 227 | 195 |
| その他 | 687 | 557 |
| 貸倒引当金 | 4 | 3 |
| 流動資産合計 | 13,633 | 12,702 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,494 | 6,410 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 785 | 690 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 72 | 63 |
| 土地 | 9,860 | 11,279 |
| 建設仮勘定 | 4 | 5 |
| 有形固定資産合計 | 17,217 | 18,449 |
| 無形固定資産 | 38 | 35 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 528 | 503 |
| 繰延税金資産 | 24 | 23 |
| その他 | 674 | 654 |
| 貸倒引当金 | 22 | 22 |
| 投資その他の資産合計 | 1,204 | 1,159 |
| 固定資産合計 | 18,460 | 19,643 |
| 資産合計 | 32,094 | 32,345 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,558 | 1,290 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6 | 6 |
| 未払金及び未払費用 | 532 | 514 |
| 未払法人税等 | 683 | 504 |
| 賞与引当金 | 230 | 207 |
| 資産除去債務 | - | 6 |
| その他 | 999 | 1,026 |
| 流動負債合計 | 4,010 | 3,556 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 100 | 97 |
| 繰延税金負債 | 1,264 | 1,236 |
| 資産除去債務 | 68 | 77 |
| その他 | 431 | 427 |
| 固定負債合計 | 1,864 | 1,839 |
| 負債合計 | 5,875 | 5,395 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,321 | 6,321 |
| 資本剰余金 | 6,439 | 6,439 |
| 利益剰余金 | 18,759 | 19,484 |
| 自己株式 | 5,479 | 5,479 |
| 株主資本合計 | 26,041 | 26,766 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 78 | 63 |
| その他の包括利益累計額合計 | 78 | 63 |
| 新株予約権 | 98 | 121 |
| 純資産合計 | 26,219 | 26,950 |
| 負債純資産合計 | 32,094 | 32,345 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 23,641 | 25,159 |
| 売上原価 | 18,931 | 20,173 |
| 売上総利益 | 4,709 | 4,985 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,299 | 3,565 |
| 営業利益 | 1,410 | 1,420 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 9 |
| 受取配当金 | 10 | 8 |
| 受取地代家賃 | 25 | 25 |
| その他 | 20 | 28 |
| 営業外収益合計 | 62 | 71 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 1 |
| 賃貸費用 | 14 | 14 |
| その他 | 5 | 7 |
| 営業外費用合計 | 21 | 23 |
| 経常利益 | 1,451 | 1,467 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,451 | 1,467 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 515 | 551 |
| 法人税等調整額 | 25 | 14 |
| 法人税等合計 | 541 | 565 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 909 | 901 |
| 四半期純利益 | 909 | 901 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 909 | 901 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 9 | 15 |
| その他の包括利益合計 | 9 | 15 |
| 四半期包括利益 | 918 | 885 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 918 | 885 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,451 | 1,467 |
| 減価償却費 | 412 | 406 |
| 受取利息及び受取配当金 | 16 | 17 |
| 支払利息 | 1 | 1 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 187 | 176 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 365 | 266 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 209 | 268 |
| その他 | 244 | 154 |
| 小計 | 1,749 | 1,654 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12 | 15 |
| 利息の支払額 | 0 | 1 |
| 法人税等の支払額 | 646 | 864 |
| 法人税等の還付額 | 54 | 124 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,169 | 928 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | - | 1,600 |
| 定期預金の払戻による収入 | - | 550 |
| 有価証券の取得による支出 | 96 | 150 |
| 有価証券の売却による収入 | - | 150 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 226 | 1,646 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 1 | 3 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 0 | 9 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 0 | 19 |
| その他の収入 | 24 | 25 |
| その他の支出 | 22 | 19 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 321 | 2,683 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | 7 | 3 |
| 自己株式の取得による支出 | 0 | 0 |
| 配当金の支払額 | 102 | 176 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 110 | 179 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 736 | 1,934 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,414 | 5,651 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,150 | 3,716 |

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|----------|---|---|
| 販売諸掛 | 337百万円 | 432百万円 |
| 広告宣伝費 | 236 | 270 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1 | - |
| 役員報酬 | 139 | 189 |
| 給与手当 | 984 | 1,044 |
| 賞与引当金繰入額 | 112 | 113 |
| 減価償却費 | 282 | 284 |
| 租税公課 | 196 | 194 |
| 賃借料 | 300 | 276 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|------------------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 4,150百万円 | 5,216百万円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 10 | 1,510 |
| 公社債投資信託(フリーファイナンシャル ファンド) | 10 | 10 |
| 現金及び現金同等物 | 4,150 | 3,716 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|--------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 102 | 6円50銭 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|---------------------|-------|-----------------|--------------|------------|-------------|-------|
| 平成23年11月10日 取締役会 | 普通株式 | 102 | 6円50銭 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月12日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|--------------|------------|------------|-------|
| 平成24年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 177 | 11円50銭 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|-----------------|--------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年11月8日 取締役会 | 普通株式 | 154 | 10円00銭 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月10日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 国産車 販売事業 | 輸入車 ディーラー 事業 | 合計 |
|-------------------|-------------|--------------------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,749 | 12,892 | 23,641 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 154 | 171 | 326 |
| 計 | 10,903 | 13,063 | 23,967 |
| セグメント利益 | 650 | 530 | 1,181 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額
の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,181 |
| 当社とセグメントとの内部取引消去額 | 516 |
| セグメント間取引消去 | 2 |
| 全社費用(注) | 290 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,410 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 国産車 販売事業 | 輸入車 ディーラー 事業 | 合計 |
|-------------------|-------------|--------------------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,576 | 13,583 | 25,159 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 192 | 172 | 365 |
| 計 | 11,768 | 13,755 | 25,524 |
| セグメント利益 | 560 | 646 | 1,206 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-------------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,206 |
| 当社とセグメントとの内部取引消去額 | 520 |
| セグメント間取引消去 | 1 |
| 全社費用(注) | 308 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,420 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---|---|---|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 57円54銭 | 58円52銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(百万円) | 909 | 901 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(百万円) | 909 | 901 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 15,807 | 15,407 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 56円73銭 | 57円40銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益調整額(百万円) | - | - |
| 普通株式増加数(千株) | 224 | 300 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | - |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当による配当金の総額 154百万円

1株当たりの金額 10円00銭

支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月10日

(注)平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社ケーユーホールディングス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 直志 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内野 福道 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケーユーホールディングスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケーユーホールディングス及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。